

一 芝浦工業大学 一

2月21日(日)後期日程 英語

解答・解説

I (1) b (2) c (3) a (4) d (5) b

- (1) B の第 1 発言「今年フランスは、クロアチアほど強くないと思う」に対しての A の発言「あなたはクロアチアが勝つと思っているの」。
- (2) 「あなたは提案された目標が、達成されないと思っているの」に対して、B の第 2 発言「はい、達成できないと思う」につながる。否定疑問文とその答え方がポイント。
- (3) B の第 1 発言「もっと徹底して準備すべきだった」に対しての A の発言「それを聞いて残念です。次回は上手くいくことを願っています」。should+have+過去分詞「～すべきだったのに(しなかった/できなかった)」
- (4) 「自分でやる」と言った B に対しての A の発言「どれくらい時間がかかりそうなの」。
- (5) B の第 1 発言「長い時間がかかったけど、何とか問題を解決した」に対しての A の発言「それは素晴らしい。何がそれ(その問題)を引き起こしたの」。

II 1. b 2. d 3. a 4. c 5. c

1. meet 「〈要求・期待など〉を満たす, かなえる」 satisfy 「〈要件・基準など〉を満たす」
2. invaluable 「計り知れない価値の, 極めて貴重な」最も近いのは critical 「決定的な, 重大な」 a の worthless は「価値のない, 値打ちのない」という意味。
3. promising 「前途有望な, 見込みのある」 hopeful には「〈状況などが〉有望な, 見込みがある, 期待できる」という意味がある。
4. shortly 「まもなく, すぐに」という意味。
5. accordingly 「それゆえ, したがって」という意味。

III 1. ① e ② b 2. ③ c ④ a 3. ⑤ c ⑥ e 4. ⑦ b ⑧ d 5. ⑨ c ⑩ a
6. ⑪ b ⑫ d 7. ⑬ a ⑭ d 8. ⑮ a ⑯ d 9. ⑰ d ⑱ b 10. ⑲ e ⑳ a

1. In the theater the lady **sat surrounded by children**.
「劇場で、その女性は子どもたちに囲まれて座っていた」 surrounded by children がこの文の補語になっている。
2. My new cell phone **was not to be found** anywhere in my room.
「私の新しい携帯電話は、部屋のどこにも見あたらない」 be 動詞の後に不定詞が続く構文。この文では【可能】の意味で用いられている。
3. The officer caught **her stealing a wallet** from his bag.
「警官は、彼女が彼のバッグから財布を盗もうとしているところを見つけた」 catch+O+～ing で「O が～しているところを見つける, 目撃する」という意味。
4. If **he had been there** that day, he would have objected to the marriage.
「もしその日彼がそこにいたら、彼は結婚に反対していただろうに」
仮定法過去完了の文。
5. Having **realized my terrible mistake**, I decided to apologize to my colleague.
「ひどい間違いに気が付いたので、私は同等に謝ろうと決めた」
having+過去分詞が分詞構文。時制のズレを示している。この文の場合の mistake は名詞。
6. You will have to deal with those problems yourself, no **matter how difficult they** are.
「どんなに困難でも、あなたは自身でそれらの問題を解決しなければならないだろう」
no matter how+形容詞/副詞で「どんなに～でも」複合関係副詞 however で書き換え可能。
7. Now my favorite actress lives in Tokyo, and **so do her children**.
「今私がいちばん好きな女優が東京に住んでいて、彼女の子供たちもまた東京に住んでいる」
so は肯定文を受けている。後は倒置が起きて助動詞→主語の語順になる。
8. Last night I met his manager. I have never known **such a kind man**.
「昨夜私は彼のマネージャーに会った。私はあんな親切な男性に会ったことがない」

such は形容詞で「そのような, そんな, あんな」という意味。冠詞 a よりも先行する点に注意。

9. Do you happen to know **what the symbol means?**

「もしかしたら、あなたはその記号がどんな意味か知っていますか」

並べ替えた箇所は関節疑問文で、know の目的語となっている。happen は後に不定詞が来て「偶然…する、たまたま…する」という意味。

10. Last week I **had the mechanic fix** my old motorcycle.

「先週私はその整備士に、私の古いオートバイを修理してもらった」

第 5 文型の have で、補語に動詞の原形が来ると、目的語と補語は【能動の主語述語関係】になる。

IV 1→i 2→a 3→e 4→c 5→b 6→f 7→s 8→h 9→q 10→d

1 greenhouse gas 「温室効果ガス」

2 be aware of 「…に気づいている, …を知っている」空欄の前に despite という前置詞があるので、対応して動名詞とするのがポイント。

3 corporation 「(大規模な)株式会社, 法人」

4 空欄直後の top は他動詞「…の頂点にある」図中の invested-owned (firms)の中から、最上位に着目する。

5 4 に続けて invested-owned (firms)の中の順位を追う。空欄を含む文中の followed 以下分詞構文。followed by 「引き続いて…, さらに…が続く」という意味。

6 emission 「放出, 排出」

7 図中上位 20 社中「12」に注目。

8 be responsible が [for…] を伴い「〈物事が〉[…の] 原因である」という意味。

9 図中 state-owned のうちで、leading 「首位に立つ」ところが対応する。

10 climate 「気候」

V 1. c 2. b 3. d 4. a 5. b 6. b 7. c 8. c 9. a 10. c

1. 文章全体で述べられている内容は何か? という視点考える。

2. 第 1 段落の内容から判断する。

3. 第 2 段落の後半から第 3 段落の green technology の定義から判断する。d. 以外は gray technology に該当すると考えられる。

4. 第 3 段落の内容から判断する。

5. 第 4 段落の第 2 文の内容から判断する。

6. 第 5 段落の第 5 文の内容から判断する。

7. 第 6 段落の第 4 文の内容から判断する。

8. 第 7 段落の第 6 文の内容から判断する。

9. 最終段落の第 8 文の内容から判断する。

10. 本文全体の内容を踏まえて、選択肢を検討する。

総評

- I 昨年度までに引き続き、会話文における挿入文を選ぶ問題。標準レベルの問題です。
- II こちらも昨年度までに同意語を選択させる問題。2. が難しいというか選びづらいかもしれませんが、その他は知っておくべき語彙知識と言えそうです。
- III 語句整序問題。昨年度から多少変わってそれが踏襲されています。基本的なスタイルは、不要な語と似た関連性の高い語とを比べて、どちらを選んで文を作ればよいかを考えます。レベル的には易しいです。
- IV 前年までのIVを引き継いでいますが、選択肢間の【選別】をしてから、問題に取り組んだ方がよさそうです。標準的なレベルです。
- V こちらも前年までの形式同様、長文の内容一致問題です。じっくり読んで、解答の根拠となる箇所を確実に見出せるかがポイントです。
- ～全体を通して～

前年までとほぼ同じ形で出題されています。1月下旬から2月上旬までの時期からずれた入試で、本格的に過去問に取り組めていない受験生が多いかもしれません。しかしながら形式・レベルは例年安定しているので、過去問を十分やりこんで入試に臨んだ受験生にとっては有利だったのではないのでしょうか。問題数のわりには時間があるので、IV・Vの長文2題に十分時間をかけて確実に正答へつなげられるかが非常に大切なポイントになってきます。